

議会だより

目次

第1回臨時会／	
第1回定例会報告……………	2～3
一般質問……………	4～8
議会活性化の取り組み……………	9
予算審査特別委員会……………	10～13
寄稿……………	14



全国募集5人を含む32人が入学した標津高校

4月8日、標津高校の入学式が挙行政され、今年は32人（昨年16人）が入学。うち、『地域みらい留学制度』の全国募集で5人。町内の中学校からの入学生も例年よりも増えました。

同校は防災教育で内閣総理大臣賞を受賞するなど、学校と地域が一体となった特色ある取り組みが、少しずつ身を結んできています。

発行／北海道標津町議会

編集／広報特別委員会

令和7年

第1回臨時会 (2月5日) 第1回定例会 (3月6日~13日)

審議内容を報告します



議案を審議した第1回定例会(3月6日)

第1回臨時会

議案

〈条例制定〉

▽職員給与に関する条例の一部を改正す

▽行政手続における特

る条例制定

▽町長、副町長及び教育長に対する期末手当支給に関する条例及び標津町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例制定

定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例制定

〈補正予算〉

▽令和6年度標津町一般会計、令和6年度標津町国民健康保険特別会計(事業勘定)他3件

第1回定例会

執行方針

▽令和7年度町政執行方針(町長)
▽令和7年度教育行政執行方針(教育長)

議案

〈条例制定〉

- ▽職員給与に関する条例の一部を改正する条例制定
- ▽行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例制定
- ▽町長、副町長及び教育長に対する期末手当支給に関する条例及び標津町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例制定
- ▽行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例制定
- ▽令和6年度標津町一般会計、令和6年度標津町国民健康保険特別会計(事業勘定)他3件
- ▽標津町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定
- ▽標津町公園条例の一部を改正する条例制定
- ▽標津町国民健康保険標津病院設置等に関する条例の一部を改正する条例制定
- ▽萌える海と大地・さ

わやか交流郷創生基金条例を廃止する条例制定

〈認定〉

▽町道の路線認定
南3条西4丁目1番1地先～南3条西4丁目1番5地先（延長231m）

〈補正予算〉

（令和6年度）

▽標津町一般会計
▽標津町国民健康保険特別会計（事業勘定）
▽標津町国民健康保険特別会計（病院事業）
▽標津町介護保険特別会計（事業勘定）
▽標津町介護保険特別会計（サービス事業勘定）
▽標津町後期高齢者医療特別会計
▽標津町簡易水道事業会計
▽標津町下水道事業会計

〈発議〉

（条例制定）

▽標津町議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例制定

【提出者／石橋昌幸議員】

（意見書）

▽持続可能な学校の実現をめざす意見書

【提出者・畑中浩議員】

▽インボイス制度の廃止を求める意見書

▽従来の「紙」の健康保険証の廃止を撤回し、発行再開・継続を求める意見書

以上2件【提出者・数間景子議員】

〈予算審査〉

令和7年度一般会計
予算他8会計予算等は、
予算審査特別委員会で
審議。10～13ページを
参照。

一般会計の補正予算（主なもの）

（単位：千円）

項目	金額	内容
減債基金積立金	17606	普通交付税追加交付分臨時財政対策債償還基金分の積立など。※「減債基金」…町債（借金）の返済に充てる財源を確保するための基金（貯金）
ふるさと応援基金積立金	199990	ふるさと納税受領見込額の積立
まちづくり基金積立金	136246	「ひかりこ基金」の廃止に伴う残額の編入調整
低所得者支援給付金（非課税世帯）	1200	給付対象者の増による追加（全額国負担）
病院会計繰出金	80503	決算見込みによる追加
緑の基金積立金（元金分）	6397	指定寄付1件分及び森林環境譲与税充当残の積立
水産振興基金積立金	3000	指定寄付1件分の積立
漁業振興特別対策	14193	サケ定置漁業者の増殖事業負担金の一部について支援（負担率8.0%の内、0.8%分を支援）

一般質問

一般質問とは、定例会において、各議員が住民を代表して、行政全般にわたり町執行機関の政策・方針を質す事です。
単に疑問を晴らし、事実関係を明らかにするだけでなく、現行の政策を見直し新規政策を提言する、議員の重要な活動です。

町政のそこが聞きたい

◆令和7年第1回定例会(3月6日~13日)で4議員が一般質問をしました。
各議員の質問項目とその内容を要約して掲載します。

5 頁

吉田 智 議員

- 【週刊文春】:デジタル教育で日本人がバカになる！
『標津型学習スタイル』構築上の
「デジタル教材」の位置付けを問う！

▼質問中の4議員の様子



6 頁

畑中 浩 議員

- 高齢者の生涯学習の推進を質す！
(高齢者大学の開校検討を！)



7 頁

石橋 昌幸 議員

- 物価高騰対策
追加対策として支援米の給付を！
- ^{ましきまち}熊本県益城町を参考に
災害に対して「自ら守る体制」を！



8 頁

西山 易男 議員

- 『北方領土ビザ無し交流』の証の
保存を求める！





吉田 智 議員

【週刊文春】：デジタル教育で日本人がバカになる！

問

『標津型学習スタイル』構築上の「デジタル教材」の位置付けを問う！

答

デジタルとアナログの双方のメリットを生かし
バランスの取れた学習指導を推進して行く！

問 『週刊文春』が、令和6年11月14日号から12月5日号までの4週にわたって

【緊急提言】
「デジタル教育で日本人がバカになる！」

と言っ衝撃的なテーマで特集を組んだ。

——先進国としてデジタル教育を推進していた北欧のスウェーデンやフィンランドでは、国際学習到達度調査（PISA）において、大きく順位を落とし、紙の教科書への回帰が進められていると言っ。

国内外の各種研究によると、紙媒体とデジタル媒体での学習効果を比較すると、記憶や集中力等において、紙媒体の方が優れているとの結果が出ている。

中央教育審議会の「デジタル教科書推進

◆令和7年度から『標津型学習スタイル』を卒業し、『探求的な学びを中心とした実践』と『アナログとデジタルをバランス良く活用した実践』の二つを統一研究テーマとして授業改革を推進して行く。…【教育長】



電子黒板とタブレット端末を使って算数の授業を進める標津小学校

ワーキンググループ」が行った有識者からのヒアリングの中で「アナログとデジタル媒体の併用継続」を望む声が多かった。2030年に、デジタル教科書が正式に導入されると

想定されている。子どもの思考力・判断力・表現力等の自らが学ぶ意欲を高める『標津型学習スタイル』構築上の「デジタル教材」の位置づけを問う。

答 教育長

デジタル

ル教育とアナログ教育は互いに補い合う相互的な関係にあり、どちらか一方に偏る学びは、子どもの成長に好ましくないと考えている。

標津町においては、幼少期から積み上げられて来た学習規律の下、デジタルとアナログの双方のメリットを生かしたバランスの取れた学習指導を今後も推進して行きたい。

双方の良さを生かすためには「ハイブリッド教科書」に期待したいが、それが叶わない場合、コスト面に配慮しつつも、これまで通り、紙の教科書を選択した上でデジタル教科書を補助教材として活用する方式を継続する事が、現時点では最適ではないかと考えている。

問

高齢者の生涯学習の推進を質す！ (高齢者大学の開校検討を！)



畑中 浩 議員

答

高齢者大学の開設を 探るための調査検討を実施

問 「人生100歳時代」到来。この長寿社会において高齢者が生きがいをもち、いきいきと豊かな人生を送ることができるよう、行政が積極的に高齢者に学習機会を提供し、学習者の興味・関心を呼び起こすための啓発活動を行う、生涯学習の推進に力を入れていただきたい。

高齢者の「学びたい」という意欲・機運の高まりの啓発活動を進める中で、令和4年度まで13年間開校した「キラリ大学」に代えて、「高齢者大学・学園」等の開校を検討する時期に来ているのではないか。

この質問は、町内の80歳代の方から要望があったもの。この方は、キラリ大学が閉校となり、現在は隣町の生涯

答 **教育長** ご提案の高齢者大学等については、高齢者を対象とした専門的な学習プログラムや、高齢者相互交流の機会を提供するものであり、本町における高齢者の生涯学習



子どもから高齢者までが学んだ「キラリ大学」

学習を学ぶ高齢者学園に通っており、本町にも高齢者が生涯学習を学ぶ場として、「高齢者大学・学園」を開校をとの要望である。

長寿社会における高齢者の生涯学習推進の取り組みへの教育長の見解を伺う。

の充実を図る上で有効な手段の一つと考えている。

しかしながら、高齢者大学を開設するにあたっては、多様化する高齢者の学習ニーズの実態を把握する必要がある。

また、そのニーズに基づいた適切な学習プログラムを開発、提供する人材の確保の他、運営体制や必要となる経費の見通し財源の確保など課題があることから、慎重な検討が必要になる。

これらの課題を整理する期間として、令和7年度において高齢者大学開設の可能性を探るための調査検討を実施させていただきたい。

高齢者の皆さんのご意見を伺いながら、調査・検討を踏まえた上

で、高齢者大学の開設が有効と判断した時には、その実現に向けて具体的な開設計画を策定したい。

再質問

教育基本法第3条に生涯学習の理念として、「国民一人一人が自己の人格を磨き、豊かな人生をおくることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができる」ことが、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない」と規定されている。

山口町長が掲げている「町民の笑顔輝くまち」の実現のためにも、高齢者が生きがいをもち、地域で活躍し、いきいきと暮らせるよう、高齢者の生涯学習の推進をお願いする。



石橋 昌幸 議員

問 住民生活の物価高騰対策に地方創生臨時交付金事業として、当町に配分された交付金を活用した物価高騰対策事業が示され、補正予算が可決された。プレミアム商品券、経済対策、福祉施設、子どもへの支援、全町

物価高騰対策

問 追加対策として支援米の給付を！

答 4月から物価高騰対策を実施予定

民・事業者への水道料減免など本当にありがたい対策である。この対策に追加として標津町民1人1人にせめて5キロの米を支援米として町民の皆さんに届けられないか。町長の見解を伺う。

答 2月臨時会におきまして、物価高騰対策関連の補正予算を計上させていただいた。町民1人当たり5キロの米の支援についても財源が伴う。町として国や道の政策も視野に入れないながら、いろんな事業とのバランスや優先重要度、加えてその効果を見極め対応していきたい。

町の支援策として町民全体に支援が行き届くようにプレミアム商品券、4月より水道料金の減免を中心とした対策を講じ、その中で対処していただきたい。

ましきまち 熊本県益城町を参考に

問 災害に対して「自ら守る体制」を！

答 災害時の長期避難に対応出来る方策を協定



益城町の備蓄倉庫

問 昨年、文教福祉建設常任委員会行政視察で熊本県の益城町と福岡県の粕谷町を訪れた。粕谷町では、災害時の議会議員としての向き合い方、また益城町で

は、各地区に分散された避難所が設置され、各町内会単位で避難物資が管理されていた。

また指定された避難場所には手押しポンプの井戸が設置され30台程度の自動車かテントを張れるスペースが設けられ防災トイレ、ベンチも置かれ避難時に必要な最小限の生活を保てる工夫が施されていた。

今一度、災害の備えの重要性と認識して、今後の避難所及び備蓄庫の整備体制及び災害時の地域の対応について町の考えを問いたい。

答 この度、標津町の緊急避難場所に下水道管理センターを追加で指定した。防災行政無線の更新工事により、電波の通じない地帯を解消することや内容を携帯端末の文字情報として伝えるシステムに

更新する。

長期避難に備え日本ムービングハウス協会等災害時における緊急仮設住宅の建設に関する協定を締結しており、1ヶ月以内に最大500棟の住宅の確保が可能。避難物資は旧標津幼稚園に保管しているが、現状として課題があると認識している。現在検討中の教育施設も将来的に緊急時の避難場所として利用する事を検討しており、避難物資の保管も合わせて検討をしていく。災害が起きた時に避難中の地域コミュニティも大変重要なひとつであり、各家庭と地域行政が連携して予測される災害に対応していくため、普段からの関わりが非常に重要であると認識している。町民の安心を出来る限り実践していく。

問

『北方領土ビザ無し交流』の証の 保存を求める！



西山 易男 議員

答

しっかりと保存活用していく

問 ロシアによるウクライナ侵攻などの影響でビザなし交流が一方的に停止され、領土問題の解決に向けて続けられてきた交流がいまだ再開の目途がたっていない。

今年で戦後80年を迎え、元島民の平均年齢は89歳を超えており、一日も早い返還実現のために政府国民が一丸となって色々な取り組みを行っている現状であるが、近年では当町でも元島民の訃報を聞くことがおのずと多くなってきた。

当町に構えておられます千島歯舞諸島居住者連盟標津支部、その支部長の福澤英雄氏は、1992年からのビザなし交流で自身は16回の参加、また現島民を13回ホームステイなどで受け入れ交流を重ね

ているビザ無し交流の標津の『レジェンド』的な人物である。

5歳の時、歯舞群島多楽島から避難し大変な苦勞をされた福澤氏が、ビザなし交流をしてきた証の品々が福澤氏所有のプレハブ「日口友好館」に数百点納められている。

この友好館の品々を北方領土隣接地域の標津町として保存し、ゆくゆくは然るべき施設で展示し、中断されているビザなし交流が再開となるときにはこの品々が必ず生きてくるものと思う。

福澤氏の年齢等を考慮すると先行きが案じられる。

今のうちに品々の記録を取ることが重要と思う。

このことに関して、町長の所感を伺う。

答

ロシアによるウクライナ侵攻が開始され3年が経ち、いまだ終息の見えない状況が続いているが、欧米諸国と我が国が行った経済措置の報復措置として、ビザ無し交流をロシアは一方的に破棄をし、日口関係は戦後最悪の関係となっている。

元島民の方々も三分の二の方が亡くなられ、残された期間はあまり



福澤氏と自宅敷地内の「日口友好館」

にも少ない。

今回ご質問内の福澤氏は5歳の時、銃を突き付けられ金品を奪われ、荒れる海の中命からがら島を脱出し、標津町に生活基盤を作るまで相当な苦勞されてきたと伺っている。

その福澤氏が悲しみを乗り越え、日ソ友好の架け橋として誰よりも交流活動に努めてこられ、活動を通じて得られた写真や交換し合った品物などは、日口友好の証として大変貴重なモデルであることは言うまでもない。

ご指摘の通り交流事業再開の暁には、これらの品々が必ず生きてくるものと認識をしている。ご家族の意向も確認し、後の交流事業再開を見据え、しっかりと保存活用していかねければならないと考えている。



第5回議会活性化サポート事業

「なぜ?! 開いていない町民への議会報告会」 ～管内4町で取り残されている標津町議会～

◀「議員一人ひとりの意識改革が必要」と訴える講師の勢篠了三氏

1月30日、第5回議会活性化サポート事業・標津町議会議員研修会が町議会第一委員会室で開かれました。議員10人全員が出席し、講師は北海道町村議会議長会参与の勢篠了三氏。演題は「議会活性化の緩急」。その要旨を報告します。

①委員会活動

委員会活動は、時間をかけて活発に議論されている。

ただ、公開された議会の場で、本来は質問されるべきところが、事前の委員会説明で質問されている。

せっかく議会を開いて傍聴して公開する中で、事前に委員会ですらに質問して終わっているのが実態。事前の説明が果たして町側から

必要なかと思う。

勉強した結果が本会議に表れず、事前説明の場で全部出し尽くして終わっていることは残念でならない。

まだ質疑の余地があるにも関わらず、なされていけないことは標津町議会の謎の一つ。

②議員問討議

各常任委員会討議ルール例を紹介。

▽委員が全員発言するよう指名し「発言しなければ」という意識づけになった。

▽議論となったポイントについて、質疑終了後に委員長採決により、論点整理を行い、2/3以上の合意を得た場合は、執行機関へ申入れを行っている。

③会議の進め方

議会は単なるミー

ティングではない。意思決定が本質。時間がないから議論時間を短くするのはない。

議員皆がどう考えているのか。多数決は、民主主義でこれは最後の手段となる。



議会活性化に向け開かれた第5回研修会の様子

④議会報告会

議員の任期4年間の内、令和7年4月で折り返し時期。3年目は勝負の年。実践に移る段階にきている。

ここ10年の間、管内4町で町民への議会報告会を開いていないのは標津町議会だけ。標津町議会が取り残されている。

なぜ標津町議会だけができないのか。心配や懸念、不安材料があるのか。

自治体や議会は新しいものに抵抗感がある。今まで通り、大過なくではいつまでも変わらない。

議員一人ひとりの意識改革が必要。意識改革がないと何事も前に進まない。まずは「やってみなはれ」。

〈講師からの提案〉

令和7年中にまずは「住民懇談会（仮称）」を開催してはどうか。

内容は、議会の状況についての基調講演後、町民から議会への意見聴取（アンケートでの自由記述含む）議員と町民との意見交換など。この懇談会を踏まえて、後の議会報告会開催につなげてほしい。

予算審査特別委員会

令和7年3月10日～13日

令和7年度 予算原案可決

総額 119億6820万円

一般会計 77億1100万円
5特別会計 15億9755万円
3企業会計 26億5964万円

予算審査報告

令和7年度標津町一般会計予算、特別会計予算5件、企業会計予算3件、条例の一部改正等7件、合計16件が付託され、3月10日～13日の4日間、議長を除く全議員で構成する、予算審査特別委員会（南憲治委員長・数間景子副委員長）で理事者及び各課主査以上の職員が出席し慎重に審議。13日の総括質疑では、多くの委員から質疑があり、採決した。委員会は各会計とも原案どおり可決すべきものと決定した。

予算審査特別委員会終了後、令和7年度第一回定例会において、南委員長から委員会審査報告がなされ、可決成立した。

議案番号	議案名	審議結果
議案第9号	標津町特定公共賃貸住宅条例制定	原案可決
議案第10号	特別職職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決
議案第16号	標津町手数料条例の一部を改正する条例制定	原案可決
議案第17号	標津町スキー場設置条例の一部を改正する条例制定	原案可決
議案第18号	しべつ「海の公園」オートキャンプ場条例の一部を改正する条例制定	原案可決
議案第22号	公の施設に係る指定管理者の指定について（標津サーモン科学館）	原案可決
議案第23号	公の施設に係る指定管理者の指定について（標津町体育施設）	原案可決
議案第32号	令和7年度標津町一般会計予算	原案可決
議案第33号	令和7年度標津町国民健康保険特別会計（事業勘定）予算	原案可決
議案第34号	令和7年度標津町国民健康保険特別会計（病院事業）予算	原案可決
議案第35号	令和7年度標津町介護保険特別会計（事業勘定）予算	原案可決
議案第36号	令和7年度標津町介護保険特別会計（サービス事業勘定）予算	原案可決
議案第37号	令和7年度標津町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第38号	令和7年度標津町金山地域休養施設等特別会計予算	原案可決
議案第39号	令和7年度標津町簡易水道事業会計予算	原案可決
議案第40号	令和7年度標津町下水道事業会計予算	原案可決

町民の笑顔輝く「政策パッケージ2025」2つの両輪

～「ひとづくり×まちづくり＝みらいづくり」～

1. 人づくり・町民への支援
2. まちづくり・地域を守る政策

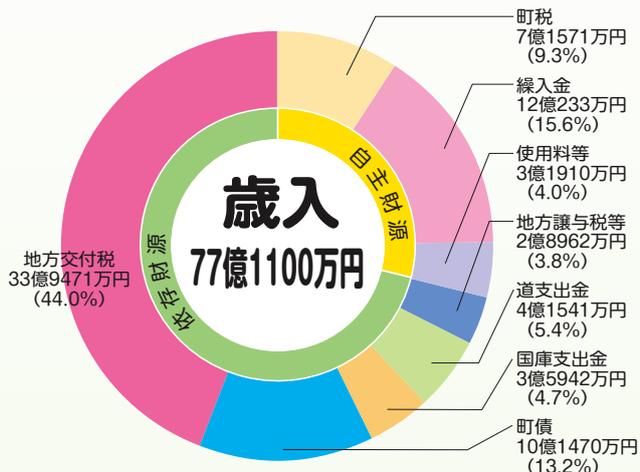


一般会計 町民の笑顔輝く「政策パッケージ2025」の実践

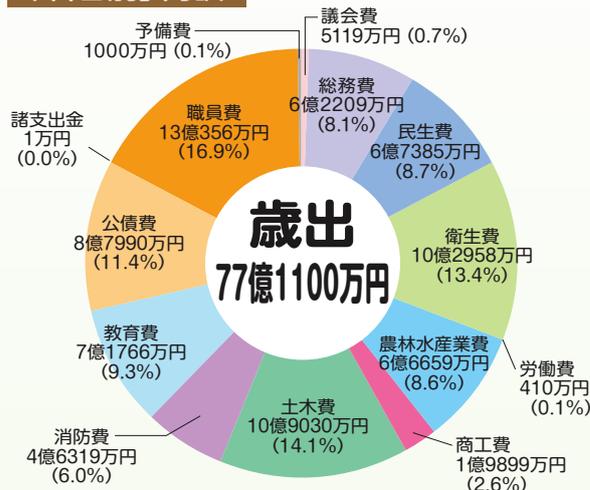
77億1100万円…

対前年度比
3.0%の増

「財源別」内訳



「科目別」内訳



※自主財源 22億3714万円 (29.0%)

※依存財源 54億7386万円 (71.0%)

町債 = 借金

公債費 = 返済金

各会計予算額

会計区分		令和7年度	令和6年度	伸率 (%)
一般会計		77億1100万円	74億8600万円	3.0
特別会計	国民健康保険特別会計 (事業勘定)	9億1198万円	8億7717万円	4.0
	介護保険特別会計 (事業勘定)	4億6674万円	4億5007万円	3.7
	介護保険特別会計 (サービス事業勘定)	3550万円	2975万円	19.3
	後期高齢者医療特別会計	1億5830万円	1億5168万円	4.4
	金山地域休養施設等特別会計	2505万円	2979万円	▲ 15.9
	特別会計合計	15億9755万円	15億3846万円	3.8
企業会計	国民健康保険特別会計 (病院事業)	13億 416万円	13億6880万円	▲ 4.7
	簡易水道事業会計	3億5085万円	5億 277万円	▲ 30.2
	下水道事業会計	10億 464万円	6億6967万円	50.0
	企業会計合計	26億5964万円	25億4124万円	4.7
総計		119億6820万円	115億6570万円	3.5

予算審査特別委員会

質疑答弁の要旨(抜粋して掲載)

〈3月10日~13日〉



審議を進める南委員長(右)

▽戦後80年の今年、北方領土関連の企画は
Q【西山委員】 今年は戦後80年の年。北方領土関連で新たな企画があるのか。
A【企画政策課長】 令和5年度に実施した元島民の声のデジタル化事業が行っていて、若年層から高齢層まで幅広く視聴されている。

▽社会福祉協議会の人員体制の確保は

Q【畑中委員】 社会福祉協議会の事務局長が不在だったが確保できたのか。

A【保健福祉センター次長】 現在、募集中で4人の応募がある。この内、4月から適任者を採用する。

Q【吉田委員】 事務局長の応募者の内、社会福祉士の資格を持った方はいるのか。

A【保健福祉センター次長】 資格を持っている方はいない。

Q【吉田委員】 事務局長は4人の中から選ばれているにしても、他に事務局員と社会福祉士は必要だと思っ。

A【副町長】 社会福祉士も募集しているが、見つからない。資格のある方を令和7年度内の途中

に採用できるように努めていきたい。

▽公衆浴場の電気代高騰への助成は

Q【石橋委員】 公衆浴場存置対策経費の電気高騰分として、120万円の助成だが、電気料が高騰の中、これを賄う金額なのか。

A【住民生活課長】 制度改正があり、今までの60万円に高騰分を上乗せして120万円見ており、賄えると考えている。これは電気料金全額ではなく、一部の助成である。

Q【石橋委員】 経営者が代わったが、報告がなかった。本補助は経営者に関係なく続けるものか。

A【住民生活課長】 1月末に経営者が代わった。風呂がない方への支援策であるため、助成内容は変わらないので、そ

ういった報告はしていなかった。

Q【石橋委員】 助成金は税金。報告があっても良いのでは。

A【副町長】 経営が厳しくなると、入浴料金を上げることになる。風呂がない方への料金を抑えるための手段だと思っていた。だいたい。

▽捕獲蓄養施設維持管理助成金の増額理由は

Q【南委員】 さけます捕獲蓄養施設維持管理助成金は前年度に比べ大きく予算が増額になっている要因は。

A【水産課長】 管内増協が蓄養施設の維持管理を行っており、電気料や施設改修経費の一部を町が助成している。

平時における魚の取り入れの他、有事の際には魚を避難させる拠点として機能を持たせるための助成金の増額となっている。

▽川北温泉愛好会の活動状況は

Q【吉田委員】 川北温

泉維持管理経費について、管理となる川北温泉愛好会は北標準の方々が中心だが、メンバーは高齢化している。今の活動状況は。

A【商工観光課長】 同愛好会は、10人ほどの方に運営への協力をいただいている。

高齢の方が多くなっている中、活動ではトイレや脱衣場、浴槽の清掃を週1回程度やっていた。これに対して若干の謝礼を出している。

▽オートキャンプ場スペースの拡大検討を

Q【藤本委員】 海の公園・オートキャンプ場は、時期になると予約が入って断っている。6スペースしかなく、駐車場に多くのキャンピングカーが止まっている。

今年、新たな政策が出てくるので、少し拡大するなど町長に話してほしい。

A【商工観光課長】 キャンプ場の敷地は町の所有地。広げるとなると道の所管になり、確認が



活発な意見が交わされた予算審査特別委員会

必要。町長には報告しておく。

▽サーモンプラザの電気料金等の予算は

Q【石橋委員】サーモンプラザ維持管理費の令和7年度の電気代の予算はいくらか。

A【商工観光課長】電気代で約400万円、燃料費で100万円ほど計上している。

町の施設ということで

直接、電力会社などに町が支払いしている。

Q【石橋委員】電気代と燃料費を町が払うということとは、最初からなかったこと。それを無理やり了承した。町民は納得していない。このことは、言っておきたい。

A【副町長】昨年も委員から質疑があった。こちらは理解してもらったと思っている。

サーモンパークに付随

する必要な施設なのでご理解いただきたい。

▽若草公住の風呂整備で空き家解消を

Q【畑中委員】今回、移住者などが入居できる特定公共賃貸住宅制度による公営住宅の柔軟な利活用を進めるため、若草団地が同制度に指定される。

同団地は現在、約3割が空き家。原因は明確で風呂が整備されていないから。風呂の整備改修費の予算は。

A【建設水道課長】予算は計上していない。既に入居している方は自分で風呂を準備し退去時には撤去し原状復旧が原則で、不公平感がある。

Q【畑中委員】せっかく条例制定しても今のままでは若草団地には入らない。

A【副町長】委員が言う通り、風呂がないと入居は難しい。今回、先に条例制定し、令和7年度中の補正で検討したい。不公平感解消には、町で風呂を取り付け家賃の他

に料金をもらうなど考えたい。

▽高校の全国募集ビデオに酪農部分を入れるベ

Q【数問委員】標津高校の全国募集のPRビデオの中で、本町の酪農部分に欠けている。今後、ビデオ制作にあたっては、基幹産業の酪農を入れてほしい。

A【教委・管理課長】動画はあくまでも高校のPR。特に産業のことは出ていない。新たなPR動画制作にあたっては検討したい。

▽金山スキー場休憩施設のトイレ修繕は

Q【西山委員】金山スキー場休憩施設の修繕が完了したが、トイレが修繕されていない。

A【商工観光課長】トイレの修繕を検討したが、水洗化が難しい。せせらぎの宿の施設全体を今後どうしていくのか、検討したい。

▽下水道管老朽化による

道路陥没対策は

Q【山崎(英)委員】先般、下水管の老朽化により道路陥没の大きな事故が起きたが、本町の現状と今後について伺う。

A【建設水道課長】本町は土砂を引き込むほど大きい下水管ではないので陥没には至らないと考えているが、令和7年度に下水管の劣化状況をカメラで調査する予算660万円を計上している。

▽スポーツハウスの利用

Q【山崎(陸)委員】昨年、定例会で質問した保健福祉センターに併設しているスポーツハウスについて、利用方法や現在の工事の状況等を教えてほしい。

A【保健福祉センター次長】屋外での体育関係を冬期間使えるように改修すると8000万円ほど経費がかかる。

また、林業分野での特産品活用との話もあり、検討するため、もう少し時間をいただきたい。

◆予算審査特別委員会における質疑答弁の全文をご覧になりたい方は議会事務局までご連絡下さい(☎85-7249まで)。

寄稿



商工会でお役に立ちたい

標津町商工会

事務局長

阿部

徹

春芽吹くこの四月から、商工会事務局長に就任致しました阿部と申します。

生まれも育ちも標津町川北で62年もの長きにわたり標津町の皆様にお世話になっております。

標津町農業協同組合に昭和56年に入組し42年間勤務致しました。

農業に携わった知識や経験が太宗を占めており商工会事業にお役にたてるのか不安に感じておりますが、長くお世話になっていられる地域で責任のあるお仕事であり、お役に立てる



標津町から見た「夏の天の川」

ことを願い日々模索をしております。環境を含めた地域の資源を活かし時代に合った工夫を取り入れる事で誠に勝手ながらテーマ「しべつ世界観」というローカルな楽しみができたらと夢を抱いております。

趣味で写真を楽しんでおり「写友北風」の仲間と10年以上前から、毎年4月新作写真の展示を「あすぱる」でスタートして根室管内を1年ほど巡回展示しております。

最近では、標津町からの「夏の天の川」を撮影（写真上）して楽しんでおります。

農協組織運営に触れますが、個々では、交渉が難しい課題について協同組合組織を通じて農政運動を展開し組合内外の合意形成を図っております。組合員の創意は、多

くの関係先からご理解とご協力によって成し得るものも多く、課題によつては、農業者以外の方々にも理解を得ることが重要となっております。

商工会運営にあつても組織内外の合意形成のあるべき姿については、同様と思ひますので組織運営を通じて要望を課題としてとらえて運営して参りたいと考えております。

この先に進んで、ご提案などもあるかと思ひますが、皆様よりご指導いただければ、幸いです。

商工会会員をはじめとして標津町、各関係機関のご理解とご協力を賜り運営の方向性を見出して参りたいと考えておりますので、宜しくお願い致します。

編集室



議会活性化の議会議員研修が開かれ、5回目を数えた（P9掲載）。講師は1回目から勢

籙先生。毎回4時間半にわたつての研修。先生は、的確に助言・提案してくれる。標津町議会の活性化を本気で考えてくれているのが講義を聞いて体に伝わってくる。この研修、自分は毎回、楽しみにしている。

そろそろ行動に移さなければならぬ。1回目の研修で「出来ることから取り組んでいく」と議員全体で確認している。

町民への議会報告会・意見交換会、議会モニター制度導入など町民と議会の距離を少しずつ縮めていきたい。

（畑中 浩）

議長 小川 悠治

広報特別委員会

委員長 畑中 藤本
副委員長 長 藤本

委員 浩 靖

委員 吉田 易男

委員 西山